



2023 学 校 要 覧

学校法人 日本体育大学 日本体育大学附属高等支援学校

〒093-0045 北海道網走市大曲1丁目6番1号

TEL 0152-67-9141 FAX 0152-67-9142

URL; <http://www.s-nittai.ed.jp>

E-mail; fuzoku.info@s-nittai.ed.jp



NITTAIDAI

1 校 訓

我らは 与えられたこの命に
無窮の価値を創造し
一日一日を喜びと精進をもって
正しく 明るく 仲良く
生きていくことを誓う

正しく
明るく
仲良く

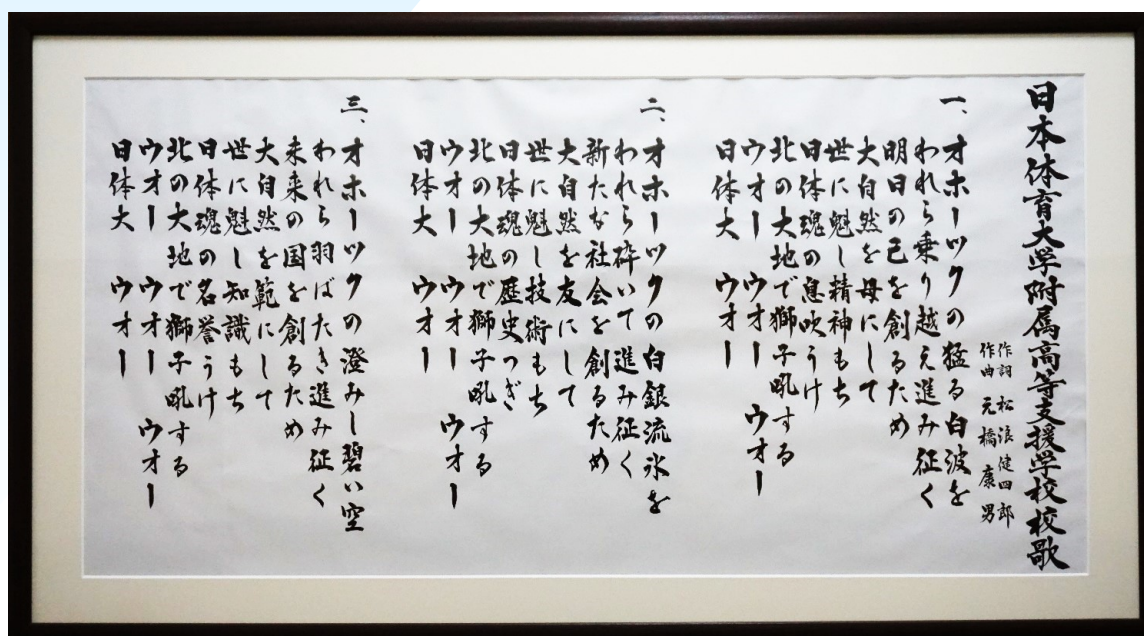
樟子心

2 校 章

1955年に制定した日本体育大学のシンボルマーク。六つの花卉を持った花桜でデザインされ、中央の三つの花卉は体育大学のTをあらわし、背後の三つの花卉はそれを支える同窓、保護者、社会をあらわしている。本校は、日本体育大学の附属校としてこのシンボルマークの中央に高等支援学校を示す「高」を配した。



3 校 歌



4 学校概要

学 校 所 在 地	北海道網走市大曲1丁目6番1号 女満別空港よりバスで約25分（バス停より徒歩5分） 網走駅よりバスで10分（約2km）
教 育 施 設	(1) 寄 宿 舎 (2) 校 舎 (3) グラウンド (4) 屋内走路（NARS：ナース） (5) クラフトハウス（木工室） (6) 校外実習場 網走湖畔園地（借地農地） (7) 園芸用地 校地内
生 徒 数	1学年男子40名 定員120名
対象となる生徒	知的障がいがあり、運動、スポーツに興味関心がある生徒 ※知的障がいがあるとは ○医師の診断がある、又は、公的な専門機関において知的障がいと判断される ○療育手帳を取得している（取得見込みを含む）

5 沿革

日本体育大学の新たな挑戦（共生社会の実現に向けて）

2014年 学校法人日本体育大学 理事会決定

創立125周年を迎えた 学校法人 日本体育大学は建学の精神「體育富強之基」を掲げ全国に体育・スポーツ指導者を輩出してまいりました。

スポーツ文化や国民の体力向上にくわえ人々に希望と勇気を与えてきたことも日体大の誇りでもあります。

平成26年度からは「医療も日体大のフィールド」とし保健医療学部を設置しました。

一方、スポーツ基本法が施行され障がい者のスポーツ教育の必要性も生じ日体大は附属高等支援学校を世に先駆けて設置することになりました。スポーツ教育を基軸に労作（農業）教育と情操（芸術）教育を行う個性的な学校です。共生社会への新たな日体大の挑戦であります。

2012. 8. 8	網走市、学校法人日本体育大学訪問・候補地提案
2013. 2. 22	学校法人日本体育大学理事・評議員会で、特別支援学校高等部の創設計画決定
2013. 4. 1	網走市及び学校法人日本体育大学に準備室を設置（開校事務開始）
2014. 4. 7	学校法人日本体育大学「北海道学園」（仮称）網走事務所開設
2015. 4. 1	東急建設・早水組工事着工
2016. 5. 30	竣工式挙行〔校舎・寄宿舍完成・内覧会の実施〕
2016. 6. 20	北海道知事認可〔日本体育大学附属高等支援学校に校名決定〕
2017. 4. 1	日本体育大学附属高等支援学校開校
2017. 11. 19	開校式典
2018. 2. 1	NARS（ナース：屋内走路）完成式典
2019. 9. 21	第1回学校祭（日体フェス）開催
2020. 3. 8	第1回卒業式挙行
2021. 3. 7	第2回卒業式挙行
2022. 3. 6	第3回卒業式挙行
2023. 3. 5	第4回卒業式挙行

6 学校経営方針

1 学校教育目標

「自らの無限の可能性を信じ、たくましく（学び）生きる」

- ・ 健やかな身体を育み、思いやりのある心の育成
- ・ 働くことを学び、自立しようとする意欲の育成
- ・ 豊かな感性を育み、社会生活を送る資質の育成

*（学び）は、生徒が「学び方」を知り、「学ぶこと」の大切さを常に持ち続ける事を目指し、学校教育目標に表記した。

2 学校教育目標を達成するための基本方針

※ 生徒の特性を理解し、「生きる力」を育成する。

- (1) 生徒一人一人の人権を尊重し、生徒の特性等に配慮した専門的な教育を推進する。
- (2) スポーツ教育を主軸とした教育をとおり、健やかな体と心を育む。
- (3) 生徒の進学・就労に必要な資質・能力を最大限引き出し、地域社会で自立した生活を送る意欲・態度を養う。
- (4) 健康で豊かな人間性を育み、潤いのある社会生活を送るための知識・技能・態度を育成する。
- (5) ICT 教育を推進し、授業や他の教育活動で活躍できる知識と技能を育成する。

3 学校教育目標を達成するための経営方針

※ ポストコロナ時代を生き抜くため、これまで身に付けた知識を生かし生徒と協働で能動的な教育活動の推進に努める。

- (1) 生徒の自己実現を目指し、教職員と保護者が密接に連携した学校づくりを推進する。
- (2) 生徒の教育的ニーズを的確に把握し指導するために、組織的な学校運営を推進する。
- (3) 北海道に誇りと愛着をもち、地域資源を活用した教育活動や生徒間の交流、共同学習を推進する。
- (4) 教職員の指導力を高めて、保護者及び地域から信頼される学校づくりを推進する。
- (5) 知的障がい者スポーツ教育の先駆的役割を果たすために、計画的・実践的な指導を推進する。
- (6) 行政、福祉及び医療関係機関、協力企業等と連携して「キャリア教育」の充実を図る。
- (7) 進路指導、卒業後支援など、協力企業や関係機関との連携を強化して実現を図る。

4 学校教育目標を達成するための指導の重点

※ 予測困難な時代における流行と不易を見極め教育的ニーズに応じた柔軟な指導に努める。

- (1) 生徒の能力・特性に応じたカリキュラムマネジメントの確立に努める。
- (2) 生徒の学習及び生活上の困難さを支える指導の充実を努める。
- (3) 自ら学び、行動しようとする意欲を培い、生きる力の基礎となる学習指導の充実を努める。
- (4) 生徒の課題に応じた実践的生活スキルや社会性を高める寄宿舎教育の充実を努める。

～ 学校スローガン ～

「学校を創造する誇りと喜びを持ち、すべては生徒のために邁進する」

校長
島 崎 洋 二



挑 戦！オホーツクの大地で獅子吼する！

自然に恵まれた地の利を利用して
心躍る体験を作り出し
豊かな人間性を育む

日本体育大学附属高等支援学校は、地域との関わりを大切にする開かれた学校づくりを目指します

地域社会で生きるチカラを培う【3つの柱】



スポーツ教育

体育、部活動
を通して
たくましい体と
健やかな心を育む



労作教育

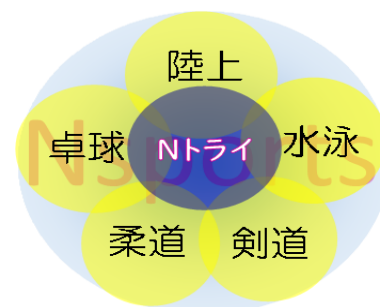
作業学習、就労実習
を通して
働くことの
楽しさ尊さを培う



情操教育

芸術、ダンスなど
様々な学習を通して
豊かな感性を養う

本校で行うスポーツ活動全般を「Nsports」と呼び
様々なスポーツにトライしています。
週6時間「Nsports Time(体育授業)」を設け
授業の中で専門的にスポーツを学び・楽しみ取り組
んでいます。



自分に合ったプログラムで活動できる、個性を生かせる体育授業。
様々なスポーツを学び、経験することで、楽しさや喜びを実感し
自信につなげることを応援します。

日本体育大学附属高等支援学校が 生み出す自立への好循環

生徒一人ひとりの
人権を尊重しながら、
障がいの特性に応じた
専門的な教育を
おこなう

寄宿舎生活を通し
基本的生活習慣の
定着

国内初の
スポーツ教育を
主軸とした
特別支援学校

体育・部活動を
通して
心身の健康を育む
スポーツ教育

絵画、書道、
ダンスなど教育の
あらゆる機会を
通しての情操教育

網走市の特性を
生かした労作教育
(農業、園芸、
流通サービス)

8 在籍生徒数・学級編成（令和5年5月1日現在）

(1) 学級編成・在籍数 (普通科・1 学年定員男子 40 名)

在籍数	1 学年	2 学年	3 学年	全校計 8 2 名 (8 学級)
1 組	1 0 名	1 0 名	1 3 名	
2 組	9 名	9 名	1 3 名	
3 組	9 名	9 名		
学年計	2 8 名	2 8 名	2 6 名	8 2 名

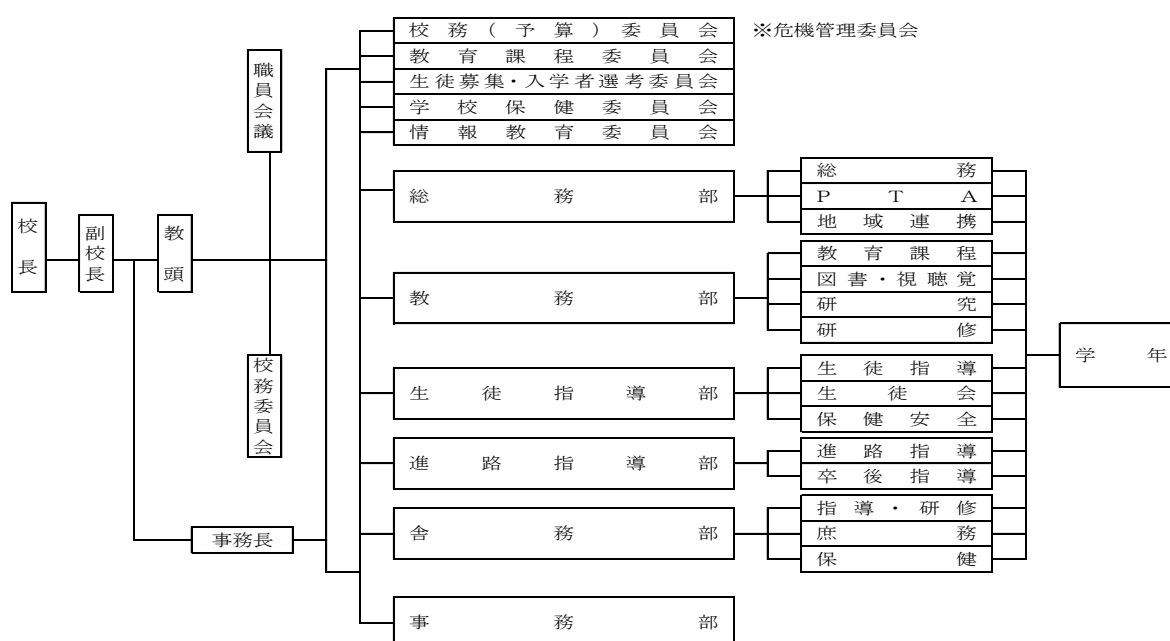
(2) 通学形態・住居地別生徒数

通学形態		住居地別			
自宅通学	12名	北海道 62名		管内	33名
寄宿舎	70名			管外	29名
		愛媛県	1名	千葉県	3名
		埼玉県	1名	東京都	11名
		神奈川県	3名	大阪府	1名

9 職員構成

教 育 職									行政職				合 計	学校医等			
校 長	副 校 長	教 頭	教 諭	養 護 教 諭	実 習 助 手	教 育 支 援 員	寄 宿 舎 指 導 員	臨 時 寄 宿 舎 指 導 員	事 務 長	事 務 職 員	公 務 補	事 務 パ ー ト		学 校 医	学 校 歯 科 医	学 校 薬 剤 師	産 業 医
1	1	1	21	1	2	1	15	8	1	2	1	1	56	1	1	1	1

10 運営組織図



11 年間授業計画・行事予定（令和5年5月1日 現在）

前期	4月8日～10月6日	始業式（4月8日） 入学式（4月9日） 学校祭（7月21日～7月22日） 夏季休業（7月24日～8月16日） 終業式（10月6日）
後期	10月16日～3月22日	秋季休業（10月7日～10月15日） 始業式（10月16日） 冬季休業（12月25日～1月14日） 卒業式（3月5日） 修了式（3月22日）

12 教育課程表

本校は、学校教育法施行規則130条2による各教科等を合わせた教育課程を編成しています。

		単位数
各教科別の指導	保健体育	4
	数 学	1
	英 語	1
	情 報	1
専門的な学習	Nsports Time	6
教科等を合わせた指導	作業学習	8
	自立学習	4
	芸 術	2
	日常生活の指導	5
領域別の学習	自立活動	1
	特別活動	1
総合的な探求の時間		1
合 計		35

<合わせた指導及び道徳>

自立学習：自立活動と国語や理科、社会等の教科を合わせて行う

芸 術：音楽と美術、自立活動を合わせて行う

作業学習：職業と家庭科、自立活動を合わせて行う

日常生活の指導：SHR、更衣、給食準備・片付け

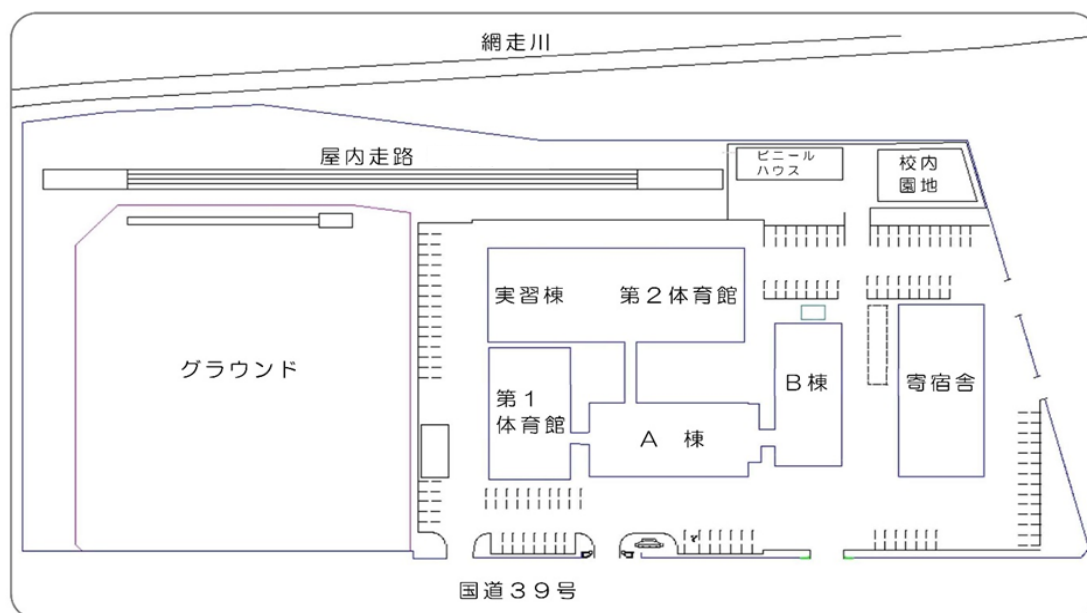
道徳は全教育活動を通して、適切に実施する

13 進路の状況

就労等種別			年度					合 計	会 社 名	・ 事 業 所 名 ・	学 校 名
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度				
就職	一般就労	一般企業	4	7	14	15	40	・ 有限会社シンテック ・ 北海道コカ・コーラ ボトリング株式会社 ・ 株式会社 八洋 ・ 有限会社 道環 ・ 特別養護老人ホームはまゆう ・ 有限会社 北光興産	・ 塩川建設株式会社 ・ 株式会社北海道健康社 ・ 東急建設株式会社 ・ 北見食品工業株式会社 ・ 株式会社寝屋川興業 ・ 株式会社二階堂 ・ 高橋建設株式会社 ・ 株式会社北海永徳 ・ 佐野自動車工業株式会社 ・ 株式会社ゴジョウ・ウェイブ ・ 株式会社八洋 ・ 自衛隊	・ リア・ジャパン・オペレーションズ ・ 株式会社レオック ・ 株式会社北海道健康社 ・ 学校法人日本体育大学 ・ 株式会社SOU ・ パーソルサンクス株式会社 夢工房 ・ クリアライフ ・ 網走ビール株式会社 ・ 株式会社ウエニシ ・ 大和谷工業株式会社 ・ エリクソン・ジャパン ・ 株式会社八洋（2） ・ 株式会社カネダイ大橋牧場 ・ 札幌国税局	
			0	1	1	2	4	・ (株)ちから カレーのちから	・ ヒューマンエクサート	・ (株)ちから カレーのちから ・ 株式会社Heart beat	
	訓練等給付	福祉的就労	継続 A <td>2</td> <td>1</td> <td>5</td> <td>3</td> <td>11</td> <td>・ 津別町手をつなぐ育成会 「つむぎ」</td> <td>・ 多機能型事業所インカル ・ エゾモモンガ ・ 職業訓練システム コスモス ・ NPO法人サラン（2）</td> <td>・ エゾモモンガ ・ アットホーム・パン工房 リスどん ・ NPO法人 堺自立支援センターユニオン</td>	2	1	5	3	11	・ 津別町手をつなぐ育成会 「つむぎ」	・ 多機能型事業所インカル ・ エゾモモンガ ・ 職業訓練システム コスモス ・ NPO法人サラン（2）	・ エゾモモンガ ・ アットホーム・パン工房 リスどん ・ NPO法人 堺自立支援センターユニオン
			継続 B <td>5</td> <td>3</td> <td>6</td> <td>2</td> <td>16</td> <td>・ 就労促進センターはちのへ ・ サンライズヨビト ・ クリーンリースウェルフェア</td> <td>・ C&Cウェルフェア（2） ・ くしろジョブ トレーニングセンター あらんじえ（3） ・ NPOライズ</td> <td>・ くしろジョブ トレーニングセンター あらんじえ ・ ピース第Ⅱ新横浜</td>	5	3	6	2	16	・ 就労促進センターはちのへ ・ サンライズヨビト ・ クリーンリースウェルフェア	・ C&Cウェルフェア（2） ・ くしろジョブ トレーニングセンター あらんじえ（3） ・ NPOライズ	・ くしろジョブ トレーニングセンター あらんじえ ・ ピース第Ⅱ新横浜
			就労移行支援	1	1	0	0	2	・ ゆたかカレッジ高田馬場		
進学			5	7	5	5	22	・ 興学社高等学院 ・ オホーツク社会福祉専門学校 介護福祉科（2） ・ 道立札幌高等技術専門学校 食品加工科 北海道はまなす 食品能力開発センター ・ 東京リゾート＆スポーツ 専門学校 ・ 釧路理容美容専門学校 ・ 道立障害者職業能力開発校	・ 札幌スポーツ＆メディカル 専門学校 ・ ヒューマンアカデミー 横浜校 ・ オホーツク社会福祉専門学校 介護福祉科（2） ・ 道立北見高等技術専門学校 建築技術科	・ 東京リゾート＆スポーツ 専門学校 ・ オホーツク社会福祉専門学校 介護福祉科 ・ 北海道エコ・動物自然 専門学校 ・ 道立釧路高等技術専門学校 建築技術科 ・ 釧路工業高等学校定時制	
合 計			17	20	31	27	95	北海道特別支援学校（知的障害）進路指導連絡協議会の分類による			

北海道特別支援学校（知的障害）進路指導連絡協議会の分類による

14 校舎配置図



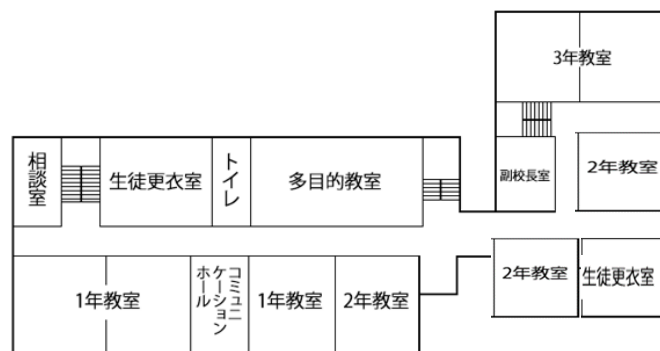
校地面積 25,408.27 m²
 校舎面積 12,286.38 m²
 体育館・グラウンド等 10,294.05 m²
 寄宿舍面積 2,827.84 m²

15 校舎平面図

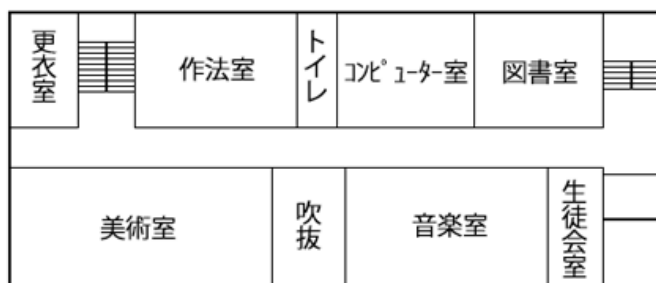
1階



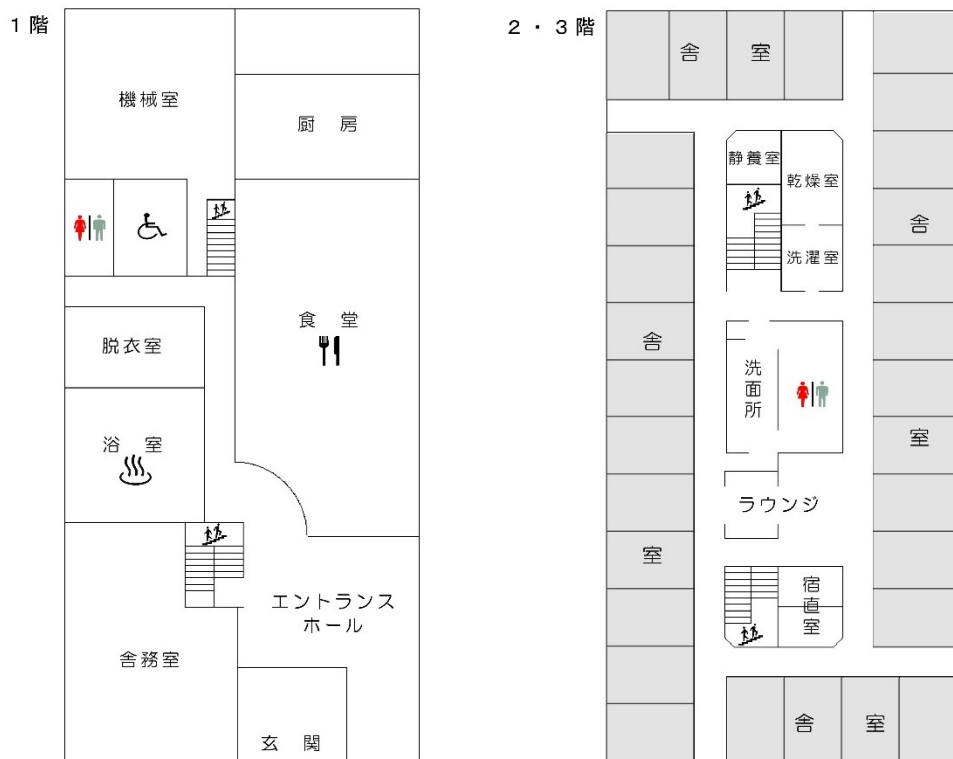
2階



3階



16 寄宿舍平面図



寄宿舍日課表

- 6 : 3 0 ~ 起床 (布団たたみ、歯磨き、洗面、着替え、洗濯物取り込み)
- 7 : 2 0 ~ 朝食準備 (グループで準備)
- 7 : 3 0 ~ 朝食
- 8 : 0 0 ~ 登校準備 (部屋の荷物整理)
- 8 : 2 0 ~ 登校 (土日、祝日は部活又は自由時間)
- 8 : 4 0 ~ 学校授業
- 1 2 : 1 0 ~ 昼食準備
- 1 2 : 2 0 ~ 昼食
- 1 3 : 1 0 ~ 学校授業 (土日、祝日は部活又は自由時間)
- 1 5 : 3 5 ~ 下校 部活終了後下校
- 1 6 : 0 0 ~ 入浴、洗濯
- 1 7 : 4 5 ~ 入浴終了
- 1 7 : 5 0 ~ 夕食準備 (グループで準備)
- 1 8 : 0 0 ~ 夕食
- 1 8 : 3 0 ~ 歯磨き、自室の清掃、区域清掃 (廊下、浴室、食堂、玄関など)
- 1 9 : 0 0 ~ 自由時間
- 2 1 : 0 0 ~ 学習時間 (各フロアーに戻る。宿題、読書、明日の準備など)
- 2 1 : 5 0 ~ 就寝準備・消灯 (歯磨き、洗面、着替え)
- 2 2 : 0 0 ~ 就寝

寄宿舍名

ゆうこんしゃ



入学をご希望のみなさんへ 進学相談のご案内

本校を受検するにあたっては、事前に「進学相談」を受けるようお願いします。
生徒・保護者の皆さんが本校に実際訪れ、施設や環境を目で見て、肌で感じ、受検の判断をしてください。

- ☆ 令和6年度入学者選考検査を受検予定の生徒を対象とします。
- ☆ 進学相談は随時受け付けます。
- ☆ 【受付電話番号 0152-67-9141 進学相談担当 まで】
- ☆ 場所は原則として本校(日本体育大学附属高等支援学校)にて行います。
- ☆ 入学希望生徒とその保護者を基本とし、在籍校の担任等が同伴することも可能です。

本校に関する最新の情報はホームページ
(下記のアドレス又はQRコード)から
ご覧下さい



日体大支援

検索

<http://www.s-nittai.ed.jp>

入学選考検査のご案内

出願期間

11月1日(水)～11月10日(金)

選考検査日

【東京会場・日本体育大学 東京・世田谷キャンパス】

11月25日(土)

【網走会場・日本体育大学附属高等支援学校】

12月 8日(金)・ 9日(土)

※どちらか都合のよい日を選択できます。

検査内容

適性検査『行動観察(筆記検査及び運動能力検査)』

合格発表

12月15日(金) 10:00

本人および在籍学校への通知、本校玄関掲示、Web発表

詳細は別途『入学募集要項』で確認願います。

公立学校との併願や 合格発表後でも出願できます

本校の入学選考は公立学校と試験日が異なりますので、本校と公立学校の両方を受験し、合格発表後にどちらに進学をするか選ぶことができます。公立特別支援学校の合格発表日以降でも受検することが可能です。(追加募集がある場合)

交通アクセス

都市間のアクセス

鉄道	札幌～網走（特急オホーツク）	1日4便
	所要時間 札幌～網走	約5時間30分
	旭川～網走	約3時間50分
市内バス	大曲行き 網走駅～大曲	約7分
航空機	千歳～女満別	約45分 1日7便
	羽田～女満別	約105分 1日5便
	中部～女満別	約115分 1日1便
	関西～女満別	約125分 1日1便（夏季のみ）
空港線バス	網走行き 女満別空港～市営住宅前	約20分
都市間バス	札幌～網走	1日9便
	所要時間	5時間50分



主要都市から
女満別空港までは
直行便が
出ています！



目印はコレ！



女満別空港からは、車で約20分！

国道39号を北上して、
大曲交差点を左折したら
学校はすぐそこ！

本校に関する最新の情報はホームページ（QRコード）からご覧下さい

